

1事例目	2事例目
<ul style="list-style-type: none"> ・妻との関係性…仕事していた時は家にいないので交流なかった。仕事をやめてから一緒にいる時間が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院は…娘が連れていく(定期的に)
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の性格…明るい方ではない。自分のやりたいことは通す。 ・子どもとの関係性…悪くはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がきついのは性格?…デイケア～言葉がキツイ。支2→支1になったが、本人曰く20代から口が悪い。娘と精神科へ受診した。 ・一人で活動して周りにねぎらってもらえてはどう?
<ul style="list-style-type: none"> ・いつ頃から自宅で…2020年、HpからENT後(脳梗塞の後) ・奥さま、車の運転は…歩いて行ける所は同伴。他はタクシー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の目は気にする?…気にはしているが…娘とCMと3人で話してはいる。デイケアは個室対応もしていたり。
<ul style="list-style-type: none"> ・母のところへはどのように…毎週末、自分で車で行っていた。入院する前に、毎週自宅に。母は施設入所。免許返納は退院後。 ・レンタル歩行器は…ENT後、ゴミ捨て場300mの移動 ・外に出かけていくこと、大切に関わっていた。アイデア、提供したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・娘との関係性は?…娘はバイトしている。娘も口調が荒いときがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・今まですすめたことは…以前通っていたこと。読書会等。通所リハ。コロナ理由にやめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の興味は…人と話すことが好き。
<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの関わりは…長・次男は年1回くらい。三男は帰ってこない。 ・孫との関わりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心チェックシート…色々な人が集まる場は? 通いの場、集いの場は? 参加しても暴言が…
<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞後遺症からくる意欲低下? 妻と一緒にであれば意欲出るなら、一緒に取り組める(一緒に挑戦できる)活動を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の通いの場、CM曰く「紹介しようか迷っている」。対人の難しさ心配。これに対する理解者を見つける事が大。性格を変えるのは難しい。この性格を個性と捉えられる方との関わり。
<ul style="list-style-type: none"> ・通所サービスの導入。サービスCの活用を検討してみても。(訪問系は利用中。外出の機会を作る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉Co、民生委員のH.Vを提案
<ul style="list-style-type: none"> ・一人で外出したいのかも? 300mの歩行は可能なので、友人と待ち合わせして近辺の散策。俳句の会と一緒に行く。地域の人の声掛け。 	<ul style="list-style-type: none"> ・料理は自身で作っていることから、本人の性格・気質をその場の人に予め説明した上で、OKであれば、民間の料理教室などに参加。逆に家に来てもらえるボランティア。 ・民間のお茶、お花教室等。
<ul style="list-style-type: none"> ・外の活動に興味がある(興味関心チェックシートより)。ひとりで動きたい? 一人で行ける支援。一人で行動できる場所があれば、その実行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスメイト主催の料理教室への参加。BMI低下傾向がある為、体づくり、健康管理の意識につながれば。食事で体調を整えることも必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・散歩した先に花壇、畑、公園等、目的があれば。散歩の会等、サークル活動的なことを作る事が可能であれば、参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1のコミュニケーションならOK? 訪問やTELで話を聞いてあげるボランティアがいれば。友人の力借りる。 ・Coの訪問。1対1の対応であれば暴言なく会話もスムーズになるのでは。
<ul style="list-style-type: none"> ・付き添いの妻、付き添いの待ち時間に本屋で本を選ぶ。孫との関わりに興味があるので、孫への読み聞かせ用の本と一緒に選ぶ。実際に読み聞かせ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への理解深める。認知症サポーター養成講座。

<p>・歩いて行けそうな市民センターで俳句クラブ(月2回)定員に空きがある。参加しては？</p>	<p>・本人と同じレベルの性格、認知機能、身体機能の方との関わり、グループ編成。 ・本当にデイケアに行っていて楽しんでいるのか？個室対応で？周りが望んでいるだけでは？狭い箱に閉じ込めようとせず、その人らしく過ごさせてあげる。合う人と過ごす。相性の合う話し相手を見つける。</p>
<p>・ボランティア活動に興味を持たれているので、資料づくり等、提供し意欲向上につなげる。</p>	<p>・お茶、お華など、人でなくモノに集中できる活動のすすめ。 ・大きな声を出す活動、してみたいというカラオケで発散。気分が緩和されるのでは。</p>
<p>・奥さまの性格を知りたかった。 ・本人の本当の望みに着目すること！</p>	<p>・自分が初心者となる活動(スポーツ)に参加すれば、集中して取り組める。興味があって新しい事にチャレンジ。</p>
	<p>・その人の事を決めつけず、芯を見てあげてほしい。そんな縛りの生活よりも、その人らしさを見てほしい。</p>
<p>教職を経て退職後も指導的な立場で生活されていた方なので、できなくなってしまったことの喪失感、ダメージは相当なものと思う。ご本人の希望は現実的でないのかもしれないが、少しでも叶えられるよう信じ支えていくことはご本人の励みにつながると思う。</p>	<p>娘とスポーツクラブに行く回数を増やしてみは？</p>
<p>意欲低下が生じている原因を考慮した上で関わり方を検討しても良いのではないかと思った。</p>	<p>認知、身体的機能がご本人と同等レベルで少人数での集まりであれば加わりやすいのかと思った。可能であれば、最初の数回は付き添いを付け、様子を見る必要があるのかなと思った。</p>
	<p>・同年代の人にこだわらず、元気な人との交流の場(もう少し若い世代の人との交流の場)があれば参加してみは。 ・料理が好きなようなので、近くに子ども食堂等、他世代の人と交流でき、好きなこともできる場所があれば参加してみは。</p>
<p>畑仕事をして体を動かし、体と心をリフレッシュする。</p>	
<p>どちらの方もそれぞれの性格があることを周りが理解する事は大切だと思う。それを逆手にとって「ありがとう」ばかりを伝えてみる。試しにやってみる感じで反応をみてもいいかも。怒っているのは他者へかもしれないが、“自分への不完全”に怒りを感じて八つ当たりすることがある、と聞いている。支援者は根気がいるが、いろんな人がいるので、試しにやってみるのはいいかも。</p>	
<p>・zoomで参加できる活動を探す。 ・有償ボランティア等の事務手伝い。</p>	<p>・娘さんの精神面、健康面(食事・排泄など気になる。飲酒あるのでは?)の安定を図るためのアプローチ。 ・多少、娘さんの不安定さが影響する部分もあるのではないかと考える。娘さんと一緒に地域活動へ参加されれば感情もセーブできるのではないか。</p>
<p>事例の方に合う活動の場所が必要と感じた。 地域の社会資源に繋げるためには、受け入れが出来る多くの場所があり、選択できる場所がたくさん必要ではないかと感じた。</p>	
<p>家の中で行えるボランティア活動の提案(俳句教室の資料作りの手伝い等)をしていく事で無理なく外出に繋がるように支援を行っていく。</p>	<p>リハ職同行訪問や福祉委員の方の自宅訪問により本人と関わる人物を増やし、本人や家族の気持ちや考えを伺う手段を確保していく。</p>
<p>子どもや小学生と交流できる場所</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・教員をしていたことの知識やつながりを活用する。 ・市民センター活動にお誘いする。 ・新聞への投稿(俳句)をすすめる。 ・散髪屋さんでおしゃべり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ、家族会に参加して介護している方のご苦勞を聞いていただく→誰かの話の聞き役になっていただけないか？ ・市民センターの活動(麻雀、料理)にお誘い。教えてあげる立場で。
<p>学習塾の講師</p>	
<p>奥さんと二人でいる時間が生活のほとんどとなっているため、本人・妻の各々の時間を取れば、コミュニケーション・生活に変化が出るのではないかと感じた。</p> <p>俳句・手紙を出し合っている友人と会う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅に友人招く(お茶をする、俳句を行う、パソコンの文書作成を行う) ・自宅の近くに友人に来てもらい、近隣の公民館や、カフェで友人と過ごす。 ・自宅の近くに友人に来てもらい、近道を散歩する。 <p>ルーティンで行っていることに対して、「妻以外の友人と一緒にいる」というルーティンを、月に数回行ってもらうのはどうだろうか。</p>	
<p>奥様との関係性が良好であることが望まれることから、ご夫婦で参加できる教室や催しがあれば関係性を作りやすいと思った。</p>	<p>性格上、既存の教室等に入りにくい方々もいらっしゃると思うので、そういう方に向けてのプレ教室のようなものがあれば一度チャレンジしてみて、今後も継続可能かどうかの判断ができるのではないかと思った。</p>